

「ふざけるな！」社長の声が響いた。

あいさつをしなかったわたしを怒ったのだ。

その態度には、理由があった。会社に対して
納得いかないことを、腹に溜め込んでいたのだ。

社長には正直に打ち明けた。するともっと怒られた。

なぜ言ってくれなかったのかと。謝罪なんかいらぬ。

あなたの本音を聞きたいだけだと。正直、驚いた。

わたしは今、曙橋店の副店長をしている。

曙橋店はベテランが多いせいか、成果を出しても注目されにくい。

悪くないのに、目立っていない。それって、なんだか悔しい。

わたしはもう、本音を溜め込んだりしない。自分で動く。

このお店をもっと誇れるお店に育てていく。

「やるかやらないかは、自分の意志で決めなさい」

あの日のことばが、今日もわたしを支えてくれている。

朝ある冬の日 に。の

